「慣れた火に新たな注意」

～秋期火災予防運動実施～

時折吹く木枯しに冬間近かと身に感じられる季節となりました。

この季節の訪れと同時に各家庭とも冬を迎える準備に入り、一年中でも一番火を取扱う機会が多くなって火災の多発する季節となります。

村内では、本年に入ってからも大した火災もなく、関係者一同喜んでおりますが、これから火気を使用する時期に入るため、更に皆様の防火意識の向上をはかり、火災の防止と人命損傷事故の絶滅を期すため、次のとおり「火災予防運動」が行なわれますので、格段の御協力をお願いします。

一、実施期間
　11月26日～12月2日まで

二、重点実施事項

(一)、くらしのなかの防火再点検

本年四月に行なった春季火災予防運動においては、主婦のための防火教室の開催により、消火栓の使用方法等について防火おいしいみそ汁もサービスされ、午後は「良寛をたづねて」「姑の役割」など二本の映画を上映して好評を博し一日ゆっくり過していただきました。

受診結果は次の通りです。

部落名	受診者数	要精密検査者数
大別当	九六	七四
月潟	五七	二一
西萱場	一四	〇
上曲通	二八	九
下曲通	一一	三
東長島	一一	一
木滑	四九	四
釣寄	四	〇
新合計	一五八	八〇

◎精密検査を受けられる方は11月15日まで主治医のところで検査を受けて下さい。

お体を注意してね

老人健康診査好評でした

老人健康診査は、老人が健康な毎日を続け、明るい老後を過されるために老人福祉対策の補助事業の一環として毎年実施されているものです。昨年までは適当な会場がなくとなりの中之口村の「憩の家」で実施しましたが今年は当村にも待望の老人憩の家「月寿荘」が完成し木の香もあたらしい中で25日（大別当、月潟上）、26日（月潟下、西萱場）、27日（上、下曲通、西部落）と三日間にわたり65才以上の老人を対象に実施されました。

午前中は健康診査を中心に、終った方から風呂に入り、お昼には

知識の普及に努めましたが、更にこれを発展させ、個々の家庭はもとより、職場においても日常なにげなく使用しているもののうち、火災発生の危険性のある物品や、器具を点検し、火の元の安全を確かめるように習慣づけましょう

このため、最低次のことについて討議しましょう。

ア、たばこの投げ捨てとたばこの防止

イ、火気使用場所の安全点検

ウ、暖房器具の正しい使い方

(二)、百貨店、学校等、多数の者の出入りする施設の安全避難

最近において、大阪千日デパートの火災に見られるように、多数の者が出入りする場所の避難体制が問題化しております。

したがって今回は特に、これらの施設についての避難体制の確立を推進するため、管理者は最低、次の事項を励行して下さい。

ア、避難誘導の励行

イ、避難路の確保

ウ、避難訓練の実施

全国一斉の重点事項は以上のとおりでありますが、村消防団及び白根地区消防署では、この期間中に、その効果を一層高めるため、午後七時の警鐘点灯を始め、各種の行事を行ないますので、皆様の御理解をお願いします。

青年リーダー研修に参加

10月23日より26日まで3泊4日で石川県能登国立青年の家で、中之口沿線地区公民館主催により、青年リーダー研修会が開催され多数の参加者があり盛大でした。

時代をになう青少年の健全育成を目的とした研修内容は次のとおりでした。

1. 仕事を通しての人生の価値感
2. 地域社会に於ける青年の役割
3. 青年は社会から、何か物ご

（写真は大阪千日ビル火災）

とをしてもらうという考え方よりも、自から進んで地域社会のために前進しなければならない。

等の講義を受け、4日間の研修を自分のものにして、明日からの生活に自信をもち能登を後にした。

当村からの参加者氏名

木滑　高木　誠
釣寄　曽山　康雄
〃　曽山　茂
東長島　白倉ミイ子

シロアリに注意

シロアリ

こん虫類、シロアリ科に属し世界に広く分布するがとくに熱帯地方に多い。

体長四ミリ～一センチで白または淡黄色、屋外の成虫は暗色のものが多い。五月～六月頃にはねのある雌雄が生じ群飛して交尾する。交尾後は雌雄で建築物の材、倒木などに侵入し新しい巣をつくる。普通のアリとはまったく異なったこん虫で雌は大きく雄の五倍ほどもある。

日本ではヤマトシロアリ、イエシロアリ、その他二種類のものが知られているが家屋や樹木を害するのは前二種といわれている。

近年これらシロアリが各地域に発生し被害を被っておる現状にありますが、本村において被害等見受けられましたら役場へ連絡されますようお願い申し上げます。

おとしよりの奉仕

昨年月寿荘竣工以来施設整備に御高配を頂いておりますが、この度曲通老人クラブ鍋亀会（会長木村恭司氏）より、月寿荘の除草を手伝いたいと10月13日役員の方々10数名がおいで下さいまして半日の間に施設内を見違えるばかりにきれいに除草して頂きました。村ではこの善意に感謝しており、厚くお礼申し上げます。

青年リーダー研修に思う

曾山　康雄

今回研修が行なわれた所は、石川県羽咋市にある国立能登青年の家で、ここは海辺の高台にあり、研修に最適の場所でした。研修期間は三泊四日で本村からは四名が参加し、青年活動の課題、青年団の集団活動についての講義、研究討議が行なわれました。

時にこの中で、どのブロック青年団からも、活動不活発の一原因として、名前だけの青年団員で、参加する人が少ないという事でした。

これは本村青年団の活動不活発の、大きなウエイトを示している問題であると思います。

今回この研修に参加して、色々な

やはり青年団は、我々青年の意見交換、余暇活用の一場所として残して行かなければならないと思います。そのためには、単なる行事だけの活動ではなく、もっと各個人の持ち味を生かせる活動もしなければならないと思います。

事業達成の結果だけではなく、その過程に於て、自分がそこに何の役割をはたすかを考える、これは講義の中で言われた言葉ですが、やはり自分で考え、自分で何かを見つけだして行くのが青年団の活動なのではないでしょうか？

今回この研修に参加して、色々な面でたいへん勉強になりました。

参加者の能登半島での記念撮影をしたので紹介します。

菊花展

一位きまる

昭和四十七年度第一回菊花展は月寿荘を会場に二百数十点の出品が行われ腕を競った。

総合優勝　野内　三代一
一本　野内　三代一
三本　野内　三代一
数咲　長谷川ヨキ
懸崖　河井善作

菊作りを通じて健康の管理を目的とした菊花会は事務局を公民館に置き、苗のあっせん、技術の交換等で会員を募集し、生涯教育の一担として活動する事になりました。

村の史跡めぐり　No. 5

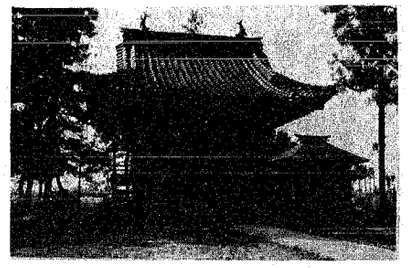
大別当　白山神社

神社について、言い伝いなど村の長老をたづねましたが全然わからないと言われ、仕方なく神官（岩本さん）にお伺いしたところ備付の台帳に次のことが記入されてあるのみで、その他については全く不明だそうですが一応書いてみました。

一、祭神　菊理姫命

二、由緒　寛政（年間不詳）年間当村創業以降斉祀長クモ林中一同信在居

三、社殿間数

正殿	南北七尺	東北二間
拝殿	南北二間	東北九尺
花表	南北八尺		
四、境内坪数	二四八坪		
五、氏子戸数	七二戸		

本年春境内整備を実施されたことより多少変更が生じたものであるが明細はわかりません。